

新しい市議会の構成が決まりました

5月12日に開催された、臨時市議会において、議長を始めとした、新しいスタッフが決まりましたので紹介します。

就任のあいさつ



議長
坂本 松次郎

このたび、議員各位のご推挙をいただき、議長の重責を担うことになりました。身に余る光栄でありますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

豊川市は、本年1月の合併で、16万人の新市となりました。地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しており、直面する行政課題は多岐にわたっています。本市の直面する重点施策は、新市民病院の早期建設であり、市民福祉の充実と向上を基本に、地方自治の健全な推進を図りつつ、行政当局と十分な連携を保ち、多様化する市民の皆様のご要望にお応えしてまいります。

豊川市発展のため全身全霊を傾注してまいりますので、今後とも市議会に対しまして、格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本会議の議長

議長 演壇

8 塚越	7 太田	6 柳田	5 榊原	4 大嶽	3 富田	2 二村	1 牧野
18 小林	17 波多野	16 野中	15 今泉	14 小林	13 岩倉	12 石原	11 山本
28 鈴木	27 美馬	26 高橋	25 中村	24 大野	23 藤原	22 井上	21 井川
35 鈴木	34 川上	33 滝下	32 石畔	31 坂本	30 米谷	29 波多野	



議会選出監査委員
石畔 八良



副議長
高橋 智之

会派

緑風会（10人）

山本 和美 石原 政明 岩倉 一夫
小林 琢生 藤原 宏樹 大野 良彦
米谷 俊子 坂本松次郎 石畔 八良
滝下 充生

とよかわ未来（8人）

榊原 洋二 柳田 通夫 太田 直人
塚越恒次郎 今泉 淳乙 野中 泰志
中村 直巳 高橋 智之

創政会（6人）

波多野文男 小林 洋一 美馬ゆきえ
鈴木 義章 川上 陽子 鈴木 智彦

市民フォーラム豊川（5人）

牧野 敏雄 二村 良子 富田 潤
大嶽 理恵 牧田千枝子

公明党市議団（3人）

井川 郁恵 井上 和也 波多野 年

日本共産党豊川市議団（2人）

安間 寛子 佐藤 郁恵

豊川自民クラブ（1人）

西川 米子

議会選出役員

豊川宝飯衛生組合議会議員

大嶽 理恵 榊原 洋二 牧田千枝子 岩倉 一夫
小林 琢生 波多野文男 井上 和也 中村 直巳
坂本松次郎 川上 陽子

議会運営委員会

議会運営委員会は、議長の諮問的な機関であり、議会運営全般にわたって、舵取りする機関です。

その構成は、各会派の議員数に応じて選出され、委員定数は条例により、9人と定められています。

委員長 滝下 充生

副委員長 中村 直巳

委員 牧田千枝子 野中 泰志 佐藤 郁恵
井上 和也 大野 良彦 鈴木 義章
米谷 俊子

政治倫理審査会

委員長 米谷 俊子

副委員長 野中 泰志

委員 牧田千枝子 石原 政明 小林 琢生
今泉 淳乙 安間 寛子 鈴木 義章
波多野 年

常任委員会

行政の複雑多岐化、専門化の傾向に対して、議案の審査及び調査に万全を期すため、市の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行う常設の委員会

◎委員長・○副委員長

健康福祉委員会



後列左より 富田 潤 野中 泰志 米谷 俊子
石原 政明 安間 寛子
前列左より 鈴川 智彦 ◎藤原 宏樹
○塚越恒次郎 西川 米子

所 管

- 健康福祉部 福祉課、子ども課、介護高齢課、市民課、保険年金課、保健センター
- 市民病院 庶務課、医事課、診療部門、看護部門ほか

総務委員会



後列左より 井川 郁恵 太田 直人 佐藤 郁恵
大野 良彦 鈴木 義章
前列左より 高橋 智之 ◎美馬ゆきえ
○牧野 敏雄 滝下 充生

所 管

- 企画部 秘書課、人事課、国際課、企画課、情報システム課、文化振興課
- 総務部 行政課、財政課、契約検査課、市民税課、資産税課
- 消防本部 総務課、予防課、防災対策課、通信指令課、消防署
- 他の委員会の所管に属さない事項

建設委員会



後列左より 柳田 通夫 山本 和美 二村 良子
坂本松次郎
前列左より 波多野 年 ◎今泉 淳乙
○小林 洋一 石畔 八良

所 管

- 建設部 維持管理課、土木課、建築課、都市計画課、まちづくり推進課、区画整理課、豊川駅東区画整理課、一宮地区建設課
- 上下水道部 上水業務課、上水整備課、下水管理課、下水整備課

生活文教委員会



後列左より 榊原 洋二 井上 和也 大嶽 理恵
中村 直巳 岩倉 一夫
前列左より 波多野文男 ◎牧田千枝子
○小林 琢生 川上 陽子

所 管

- 生活活性部 農務課、商工観光課、環境対策課、生活活性課
- 教育委員会 庶務課、学校教育課、生涯学習課、市民体育課、学校給食課、中央図書館

3 月 定 例 会

豊川市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月22日から26日間にわたって開かれました。

2月27日からの3日間にわたり、代表質問では5名、一般質問では15名の議員が、市政全般についての市の考え方や方針をただしました。主な質問と答弁の要旨は、次のとおりです。

今回、代表質問を行った会派は、緑風会、清政会、新生豊川、市民フォーラム豊川、日本共産党豊川市議団でした。

代 表 質 問

平成20年度施政方針と 予算案について



【問】 予算編成で留意した点や特徴、マニフェストの政策への反映状況と総合計画との整合、重点施策、旧豊川市、音羽町・御津町地区への事業費の配分——について伺う。

【答】 予算編成にあたり、厳しい財政状況の中、音羽町、御津町との合併により拡大した市域全体の一体性と均衡ある発展に留意して、予算配分した。

また、新市民病院建設などの大型事業を控えているので地方債残高の縮減や、繰り上げ償還と借換えにより将来の公債費の削減に取り組んでいる。

市長選挙中に掲げたマニフェストの政策については、39項目のうち、今年度は23項目を予算化し、予算などを伴わない事業

を含めると28項目を実施していく。

マニフェスト以外の重点施策についても、総合計画の実施計画で事業を取捨選択するとともに、まちづくり交付金や合併特例債、合併推進債などを有効活用して財源を確保し、事業の推進を図っている。

平成20年度施政方針並びに 予算案について



【問】 ①予算編成における市長の思いとマニフェスト以外で特に留意した点②地方公共団体の財政健全化に関する法律に伴う健全化判断比率に対する現状での認識③旧豊川市での防災行政無線配備の考え④新市民病院候補地の各種法規制の審査に対する考え——について伺う。

【答】 ①国、地方とも財政状況が厳しい中、平成20年度は、地方債残高削減への取り組みや職員の少数精鋭計画などの削減努力により、新市民病院建設事業などの大型事業を実施する際の

体力を蓄える時期ととらえ、堅実な予算編成とした②平成19年度の決算が確定後に四つの健全化判断比率を公表することになる。このうち、今後到新市民病院建設という大型事業を控えているため将来負担比率の動向に十分注意していく③豊川市に整備する同報系防災行政無線は、平成21年度からの整備に向けて検討を進める④候補地の法規制について検討しており、12月末までには審査が通るよう最大限努力をする。

平成20年度 施政方針に関して



【問】 ①財政状況が不明瞭な中で、合併で、今後一層の行財政の改革が求められるが、マニフェストをどのように総合計画に反映していくか②男女共同参画条例制定の考え③合併をふまえて小坂井町の地域も含めた新総合計画を策定する考え——について伺う。

【答】 ①音羽町、御津町との合

①健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定された、地方公共団体の財政運営が健全に行われているか判断するための4つの指標（①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率）のこと。

併に伴い、総合計画の基本計画部分の再構築を行う。その中でマニフェストの項目を反映させていく。見直し作業にあたっては、現状把握に努め、合併協議会で策定した新市基本計画との整合性を保ちながら、街づくりの方向性を位置づけ、施策ごとの目標指標を市民にわかりやすいものにしていきたい②平成20年度は、条例制定に向けた取り組みを実施し、平成21年度からの施行を計画している③市の最上位計画なので、合併を考慮して市域を拡大して策定することは考えてないが、合併に関する動きに注意を払い、調整しながら進めていきたい。

平成20年度施政方針並びに予算案等について



市民フォーラム豊川

【問】持続可能な自治体財政の確立のため、①公的資金補償金免除繰り上げ償還による将来負担削減の影響額②事業の見直し、廃止等を含めた検討③予算編成過程の公表④特別会計、企

業会計、第三セクターを連結した財政情報の開示⑤長期的に見通し、病院建設費を見積もった場合の市の財政状況——について伺う。

【答】①3年間で約43億円前倒して返済、将来支出すべき償還金利子が8億9千万円程度削減見通し②10事業を廃止③今後検討。市民の皆様に限られた予算の中でどの事業に重点をおいて実施するか伝えることは大切④財務4表作成システムの開発経費を計上。21年度に公表したい⑤病院建設費を入れると地方財政健全化制度下の早期健全化基準を超える可能性も出てくるため、財政健全化の取り組みを行っている。全会計を合わせた地方債残高は平成18年度末が93億5千万円、20年度末には863億4千万円、約75億1千万円の削減見込み。今後も地方債借り入れの抑制などを実施する。

新年度施政方針と予算案、委託業者の個人情報紛失について



日本共産党豊川市議団

【問】①職員定数削減計画の策定方針やパート等の雇用問題②合併等に伴う事業の統合や支所化への対応、施策等③消防広域化計画④公立病院改革ガイドライン⑤地球環境保全への対応——について伺う。

また、⑥外部委託先への情報セキュリティの改善策、委託契約のあり方について伺う。

【答】①職員の少数精鋭計画を策定し、人員削減を図る。また、来年度からパート等の賃金単価を増額する②旧御津町の子育て支援センターは、現在の事業の組み合わせで対応し、保育園の遊戯室を一部開放していきたい③消防広域化の推進には、さまざまな課題があるので、今後、対象市町で協議していく④20年度に策定を予定している。これを活用し新市民病院建設に向けて経営基盤の強化につなげたい⑤次期環境基本計画に二酸化炭素の抑制などを盛り込みたい⑥通信回線を経由するデータ送信が対策として有効と考える。外部委託契約では安全性や費用を比較し、業者選定をしている。

一般質問

市民病院の現状と今後の対応について



一括質問方式

【問】①空調、電気、その他施設の保守②駐車場不足への対応③施設の狭さに対する認識④医師及び看護師確保の対応⑤第二次救急病院としての対応——について伺う。

【答】①大幅に耐用年数を経過しており、恒常的なメンテナンスと部分的な修繕で延命措置を行っている②本年4月から、近隣の借地により、新たに38台の確保を見込んでいる③一般室1床当たりの平均面積が、医療法施行規則の基準以下。また、外来待合室、診察室の狭さ、手術室、検査室の不足など、ほとんどの部署で患者に影響がある④大学等と一層綿密な連携のもとと医師確保に努める。7対1看護には、さらに10名程度が必要であり募集に努める⑤救急における時間外診療は限界にきており、医師会との連携を強化し、機能分担の明確化に努力する。

③公立病院改革ガイドライン

関係地方公共団体が公立病院改革に係るプランを策定する際の指針を示すもので、これに基づき関係地方公共団体は、経営効率化等を目指す公立病院経営改革プランを策定することが求められる。

②財務4表

地方公共団体単体と関連団体等を含む連結ベースでの貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計画書、純資産変動計算書のこと。この整備を平成21年度から平成23年度までに取り組むことが総務省より要請されている。

ごみ量削減とリサイクル施策及び 保育園の充実について



一括質問方式

【問】①ごみ量削減の取り組み②その他プラスチックごみリサイクルの考え——について伺う。

【答】①レジ袋削減マイバック運動、ごみ分別説明会を通じた啓発活動、出前講座の開催など、ごみ削減、リサイクル推進は重要な施策と認識し、取り組んでいる②清掃工場焼却炉の延命化も考え、取り組むべき問題と考えている。

【問】①保育園の自園調理室の整備計画等の考え②延長保育のおやつ代軽減の具体的内容——について伺う。

【答】①音羽、御津町の合併により、さらに各分野で効率的な運営が求められていることから、今後の要保護児童数の推移を見極め、共同調理場の建設計画や国の動向を踏まえ、よりよい保育サービスを検討する②20年4月から、月額五百円引き下げ、千五百円を予定している。

市内公共交通網の 確立について



一問一答方式

【問】合併後の市内公共交通網確立への今後の考え方は。

【答】新市となって、直ちに一体的な公共交通網の再編は困難であるが、現在ある公共交通の利便性の向上は可能。また、法律改正で設置可能となった、地域公共交通会議を20年末までに立ち上げ、利用者数、運行経費等を考慮し、多数が利用し、支持される公共交通を確立する。

【問】料金体系をどう考えるか。

【答】多数が利用しやすい統一された料金体系が必要である。広く意見を聞き、最も適切な料金体系を検討する。

【問】地域公共交通会議設置への国の支援は。

【答】地域公共交通活性化法に基づく組織とすることで、計画策定経費や実証運行への補助等、創意工夫をより促進する支援が受けられる。

小学校校区 見直しについて



一問一答方式

【問】市内24小学校中で遠距離通学の学校は。

【答】御津北部小5^校、一宮西部小4.1^校、一宮東部小3.3^校、国府小3.2^校、平尾小、赤坂小、御津南部小3^校、徒歩で45分から60分を越えるケースがある。

【問】御津北部小の通学用のタクシーを市内他地区でも取り組む考えは。

【答】御津北部小の場合は、事情が特別であり、他の類似地区で実施する考えは現在ないが、学校や保護者の意見把握などの検討は考えている。

【問】新設、統廃合を含めた校区見直しの考え方は。

【答】個別の事情には、区域外就学制度の充実で対応する。町内会・連区が基本となっている校区を行政主導で変更の考えはない。合併後、地元の要望があれば、通学区区域審議会で検討していく。

総合計画における 旧音羽町の位置づけは



一括質問方式

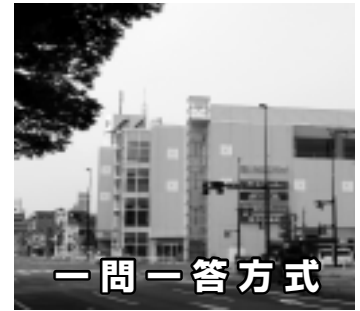
【問】①第5次総合計画見直しにおける旧音羽町の位置づけ②新市における旧音羽町との一体化の進め方——について伺う。

【答】①20年度実施する第5次総合計画基本計画の見直しで、旧御津町地域とともに明確にする。見直しでは、担当部課とのヒアリングで、地域の現況・課題等を把握し、他地域とのバランスの中で、古い歴史と文化を基礎に築かれてきたまちの特色を生かした、魅力ある地域と位置づけができると考えている②地域格差を解消する事業の着実な推進が重要。特に、市民に密着した事業を優先して計画に位置づけ、その実現を図ること、地域全体の均衡ある発展と市民福祉の向上に努める。実施事業は、毎年の実施計画で、必要性、緊急性を考慮し、財源の有効配分の中で位置づける。

④地域公共交通会議

地域の実情や需要に応じた住民の生活に必要な公共交通の設置等に関する事項を協議する会議。

市長マニフェストにおける諏訪地区活性化と産業支援について



【問】諏訪地区活性化を図る集客の必要性に対する考えは。

【答】民間の活力もあわせ、積極的に推進したい。本年、子育て支援センターを開設し、来年度にはつどいの広場、休日及び夜7時まで対応する窓口センターを開設する。今後も、有効な施策はすぐにでも実行したい。

【問】諏訪再開発ビルキーテナントの契約切れへの対応は。

【答】店長来庁時に考えを聞き、今後の対応を考えていく。

【問】優良企業誘致に対する本市の考え方は。

【答】豊川市の魅力を効果的に発信するため、企業立地ガイド、空き工場用地情報のネット掲載。また、来年度にPR用ガイドブックの作成、企業立地説明会への参加を予定。優秀な人材確保のため、商工会議所の人材育成策や愛知県の若年労働力確保事業との連携を検討している。

電子媒体紛失事件を教訓とした施策について



【問】今回の事件を踏まえ、全職場でのIT情報管理の対応は。

【答】個人持ち込みの外部記録媒体の利用及び外部への持ち出し禁止措置を行った。

【問】委託先や庁内の情報セキュリティポリシーの徹底は。

【答】セキュリティの基本方針や適用宣言書等の提出など、情報セキュリティの遵守状況の監査やその結果報告を求める。

【問】業者選定に対する考えは。

【答】ISO規格取得時の診断項目等を研究し、必要に応じ、その項目を加味し選定していく。

【問】リスクマネジメント導入に対する考え。

【答】事後的な対応の重要性は承知しているが、まずは危機を未然に防止する体制が必要であることから、導入には、先進事例等の研究から緊急度や重要度、また、関係者の意見を考慮し、その対応を検討していく。

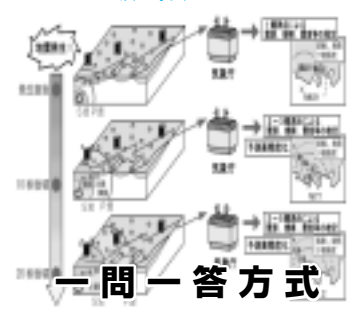
本市におけるC型肝炎について



【問】薬害肝炎被害者救済法が施行されたことを受けて①市民病院でのフィブリノゲン製剤の使用とこれによるC型肝炎患者の有無②市民病院におけるカルテの保存期間及び管理状況③市のC型肝炎検査状況及び対応について伺う。

【答】①当院には、昭和55年から平成2年までの11年間にわたり、納入され、14人程度に使用されたが、救済法が定める対象者はいなかった②カルテの保存は、医師法で5年とされているが、当院では、10年保存している。患者一人に一ファイル保存のため、収納しきれず、隣接の倉庫に保存しているため、電子カルテ導入などについても慎重に検討していく③過去にもC型肝炎の節目健診を実施したが、平成20年度も40歳の方を対象に節目健診を実施する。陽性者には精密検査の勧奨を行う。

東海・東南海地震などの大規模災害への備え及び市長マニフェストについて



【問】緊急地震速報の現状認識と今後の方針は。

【答】緊急地震速報は、人命救助が図れる有効な情報であると考えている。9月頃を目途に、小中学校各1校、保育園1園に試験導入し、行動マニュアルや訓練方法を検討し、設置施設を拡大していく。

【問】病院建設候補地の条件は。また、法規制についてはどうか。

【答】広くて平面駐車場がとれ緑があふれ、交通アクセスがよく、費用の点でも、トータルで諏訪地区よりも有利なところを提示する。規制もクリアの見込みのあるところを提示する。

【問】市民の合意形成の手順と開示、決定の時期は。

【答】合意形成については、建設地検討委員会の委員を市民の方から公募して、参加いただく。候補地案をこの3月に示し、夏ごろには建設地を決定したい。

⑥リスクマネジメント

企業や事業主体が経営していく中で、経営の危機に陥るようなリスク（不確実性）について分析し、対策を講じること。専門のコンサルタントに委託する方法等がある。

⑤情報セキュリティポリシー

組織の中にある個人情報等を、安全に運用するための規約を文書化したもので、主に基本方針、基本規定、運用手順で構成されている。

職員の接遇と小坂井町との合併について



【問】接遇キャンペーンの目的、方法及び成果は。

【答】市人材育成基本方針に定めた、笑顔あふれる職員の実現を目的として、あいさつの徹底等の接遇キャンペーンを実施した。今後も接遇向上が図られるよう、各職場の接遇指導者養成研修を実施する等して、質の高い市民サービスを実現したい。

【問】小坂井町との合併に意欲的な姿勢であったが、最近トーンダウンしたと思われるが。

【答】変わりはない。小坂井町内で意思統一が図られ、合併協議の申し入れがあれば、関係機関と調整の上、対応する。

【問】具体的にいつ合併したいのか。また、そのメリットは。

【答】平成21年度末までの早い時期に、拡大する市域などを有効利用した施策を打てるような合併を目指し、20年度に關係機關と協議を始める。

子どもたちの健やかな育ちのための食育について



【問】学校給食の現状は。

【答】19年度2学期までの給食食材の県内産割合は、45・9％となっており、また、地元ひまわり農協管内で作られた食材を使う、イベント給食等も実施している。今後も地元食材を積極的に活用する。なお、本市では、中国産食材は使用していない。

【問】本市の食育推進は。

【答】本市の食育を総合的かつ計画的に推進するため、新年度に關係部局・機關をまじえた検討委員会を設置し、市食育推進計画の策定に向けて、検討していく。

【問】料理を手段とした食育プログラムへの導入の考えは。

【答】食育の重要性を認識するため、幼児の料理教室「キッズキッチン」などの食育プログラムの実施は、大変有意義であるため、新年度に、その内容について調査、研究していく。

農業振興施策及び指定管理者制度について



【問】①地産地消のとりえ方及び推進状況②遊休農地対策の考え方と取り組み③指定管理者制度の導入状況と、導入後の問題について伺う。

【答】①消費者へ安全な食材を提供し、地域農業の活性化を図るため、ひまわり農協による地元農産物の直売等を始めとして、地産地消にかかる施策を積極的に推進していく②農地の有効活用は、食糧自給率を上げる等の効果をもたらすもので、本市では、農業委員会、農事組合、学校、町内会等の連携により、農業体験の場とする等、遊休農地の復旧に向けた取り組みを実施している③現在、158施設で指定管理者制度を導入している。これまで、大きな事故等は発生していないが、今後は、指定管理者の経営状況を把握し、適正な管理運営を維持するよう監視する必要があると考える。

本市の「災害時要援護者」支援対策の取り組み及び学校支援ボランティア活動について



【問】災害時要援護者情報の収集・共有の方法と現状は。

【答】要援護者本人が、台帳登録と情報提供を同意した場合のみ、市關係部局内、自主防災会、民生委員、地域支援者で共有。20年1月時点で、対象者五千四百二十人中、台帳登録者は千七百六十二人である。

【問】要援護者の災害時の避難支援体制の現状は。

【答】市關係部局、自主防災会と地域支援者が協力して、支援体制の確立を目指しており、あわせて地域での安否確認訓練などの実施も推進していく。

【問】学校支援ボランティアの活用方針は。

【答】現在も小・中学校で、様々なボランティアの協力をいただいている。今後も学校サポーター事業を導入するなど、学校運営を円滑にするため、ボランティアの効率的な運用を推進する。

⑨学校サポーター事業

学校運営を円滑に行うため、各学校が必要とするボランティア活動の内容と人数を把握し、無償ボランティアを市民から公募し、学校内で活動してもらうこと。

⑦地産地消

地元で生産された農産物を、地元で消費すること。

⑧災害時要援護者

お年寄り、乳幼児、障害者、外国人など災害時に弱者の立場に立たざるを得ない人々のこと。

地球温暖化、市民の健康及び スポーツの盛んなまちづくりの可能性について



一問一答方式

【問】地球温暖化防止への市のこれからの対応は。

【答】市民が二酸化炭素削減の意識改革を図ることが重要。

【問】市民の健康を守ることは、将来の医療費の抑制につながるのではないか。

【答】ほとんど運動をしない5万人弱の市民の方々に、とよかわ健康づくり計画に取り組んでいただき、長期的に見て医療費の抑制につなげたい。

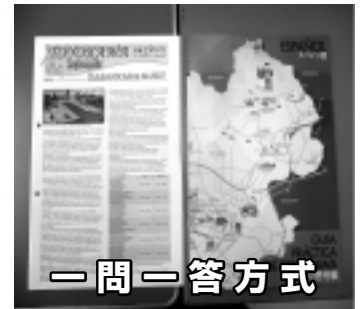
【問】スポーツの盛んなまちづくりのためのビジョンは。

【答】スポーツ大会の開催、陸上競技場の改修、指導員の育成などに取り組む。

【問】これまで質問してきた環境、健康、スポーツのまちづくりは「自転車」を活かすことで一気に解決できるので、取り入れてはどうか。

【答】住民からの盛り上がりがあれば検討する。

多文化共生及び 豊川市の教育環境について



一問一答方式

【問】外国人定住者への現在、また、今後の施策は。

【答】ポルトガル語のできる指導手の学校常駐化、日本語講座などの講習会や各種交流会の開催、日本文化との違いを紹介する冊子の作成などを展開して、外国籍の方が安心して暮らしていけるよう努めていく。

【問】心の病により休職している教職員に対する対策は。

【答】スクールカウンセラーの配置、相談室の開設、管理職への研修会の開催、医療機関の受診、個々の状況に応じた職場復帰計画を立てるなどしている。

【問】本市のモンスターペアレントの現状と対策は。

【答】親からの学校への理不尽な要求は増加傾向にある。教職員や学校だけで対応せず、校長、民生委員、PTAの方に相談に乗ってもらう等、地域と連携して解決するよう努めていく。



その他の質問項目

- ・合併後の救急車、消防車対応の格差及び消防車両・機器資材の維持管理について
- ・男女共同参画施策について
- ・市内巡回バスについて
- ・第二東名高速道路建設工事について
- ・住宅用火災警報器設置義務づけについて
- ・文化財の保護について

次回の定例市議会

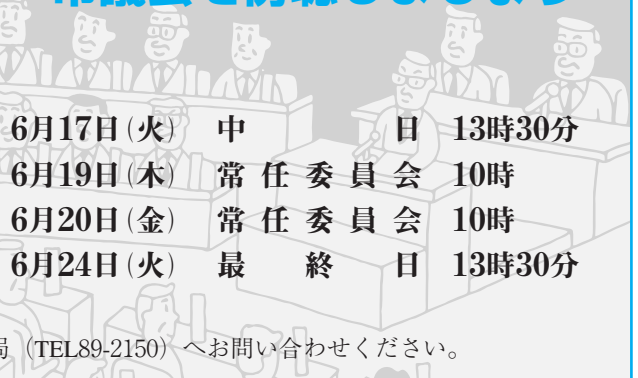
(平成20年第2回定例会)

◆会期日程予定

6月 6日(金)	開	会	13時30分	6月17日(火)	中	日	13時30分
6月11日(水)	一	般 質 問	10時	6月19日(木)	常 任 委 員 会		10時
6月12日(木)	一	般 質 問	10時	6月20日(金)	常 任 委 員 会		10時
6月13日(金)	一	般 質 問	10時	6月24日(火)	最 終	日	13時30分

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局 (TEL89-2150) へお問い合わせください。

市議会を傍聴しましょう



⑩モンスターペアレント

学校に対して、自己中心的で、理不尽な要求を繰り返す保護者のこと。